

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属:志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127



双方向の情報交流

市議会に国旗が掲揚される

町田市議会は新庁舎建設に伴い本会議場に国旗を掲揚することになり、2012年度第3定例会の初日(8月31日)から実施しました。場所は議長席の前方で行政の理事者が並ぶ列の外側で、議員席から見て本会議場の右方になります。



尖閣・竹島問題で意見書可決

国政で大きな課題になっている、国境・領土の問題に関して、地方議会でも黙っているわけには行かない考えが広まっています。町田市議会第3定例議会の初日(8月31日)、政府が毅然とした方針で臨むことを求める意見書と、尖閣への上陸事件の映像公開を求める意見書をそれぞれ可決し、政府と関係機関に送ることを決めました。

なお、第3定例会の日程は、初日が議案の上程、前半が議員の一般質問、中盤が議案の委員会審査、後半が決算審査、最終日は10月5日に決まりました。

鶴川のホールが工事延長

町田市の公共施設の工事契約が延長になりました。町田市に言わせれば、議会在議定したということになるのかも知れません。

町田市鶴川に9月29日より開館する「和光大学ポプリホール鶴川」(町田市の公共施設)の建設工事が遅れ、電気工事と空調工事が契約期間内に終わらないため、その期間を延長する議案が臨時開催した市議会に提出され、それを承認したものです。議員側には言いたいことが山ほどあり、本会議だけで4名も登壇し、私も本会議質疑を最初に行いました。

質した内容は、その原因がどこにあったのか、責任はどうなるのかと言うものですが、町田市の説明によると、全ては建設工事を受注した東急建設が地下工事部分でその困難さを見誤り、全体に遅れが出たことで、今回の工事延長をしなければならなかったとするものでした。工事費の追加は無く、全体の検査後、その工事業者の指名停止などの責任を改めて問うとする答弁でした。

開館後のスケジュールが既に公表され、様々の日程があり、それを遅らすわけにはいかない町田市としては、今回の工事延長の議案を議会に諮ったものです。

続く、他の議員の質疑では、本当に今回の延長で工事が間に合うのか、しっかりした完了検査が施せるのかとの問いでした。議案には議員全員が賛成しました。そうせざるを得ないわけです。果たして、市長はそうした議員の判断を少しでも汲み取る考えはあったのでしょうか。残念ながら、いささかもそうした点が見えてきませんでした。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

版画美術館で講演を聴いて

(以下はインターン生のレポートの抄文です)

「ポスターで振り返る 町田市立国際版画美術館 企画展」が市民展示室で開催される日でした。美術館の事業をサポートしながらさまざまな活動をする、友の会の企画開催です。吉田議員も会員であり準備などのボランティアを以前からしているそうで、私も午前中の設置準備に参加させていただきました。

14 時からは大下勝正元市長が来館され、版画美術館創設のころについて講演をしてくださいました。町田市に文化的なものを取り入れたいと思っていたところ、美術関係の方の協力があり創設に至ったそうです。版画は美術品として比較的安く手に入るからなど、版画を收藏することになるまでの興味深いお話もありました。町田市にとどまらない高いレベルで将来を考えていたことがよく分かりました。

また大下氏は学術的な面だけでなく、市民との接点が必要だと考えていました。その思いが小中学校の作品展、アトリエの開放、版画実技講座など市民が参加できるような場をつくることにつながっているのだと思います。小さな美術館ながら充実していると感じるのは、このように市民に対してのサポートがあるからなのでしょう。終始立ち通しで話される大下氏の姿はとても印象的でした。

質問に答えていただける時間があつたのですが、聞きたいことが纏まらず結局質問できませんでした。このような場でさっと発言することは大切なことなので、次の同じような機会では意識して臨みたいと思います。

(第 30 期研修生 矢島見依子 成城大学 3 年)

動画編集の作業を行って

(以下はインターン生のレポートの抄文です)



先日撮影した動画の映像を youtube へアップロードし、編集する作業を一日中手伝わさせていただきました。吉田さんは「吉田つとむ発見動画チャンネル」というタイトルの下、動画を今までに 4800 件以上アップロードされています。一見動画をアップロードするのは、撮影してそれをそのままアップロードすればいいだけの簡単な作業に見えますが、実際は違いました。アップロードしてからタイトル、コメントといったものを一つ一つの動画につけていきます。これは地味な作業ですが、非常に時間と労力がかかります。吉田さんはこれを何年も続けているというから驚きです。吉田さんが投稿した動画の総再生回数は合計 400 万以上になっているそうです。

動画を撮影し、それを発信していくこと。中々自分のやっていることを発信していくというのは、気恥ずかしい部分もあって難しいことだと思います。また、継続して動画を配信していくのも大変です。こういったことをコツコツ続けているところが、支持されている理由の一つなのではないかと思いました。

(第 30 期研修生 吉原晃)

東京大学大学院修士 1 年)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail : yoshidaben@gmail.com